

患者ID:@PATIENTID

2010.3.20作成

@PATIENTNAME 様 大腸化療(sLV5FU2)

2012.2.8改訂

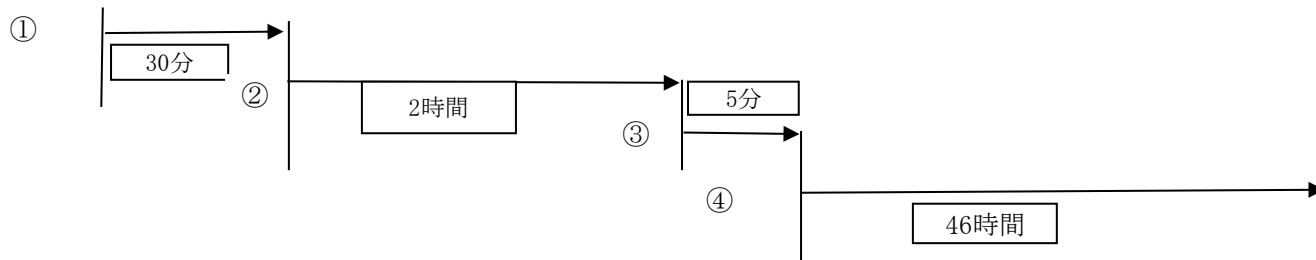
指示者	@USERNAME
コース数	

身長	HEIGHT01_D	cm
体重	HEIGHT01_D	kg
体表面積	#VALUE!	m ² (DuBoisの式)

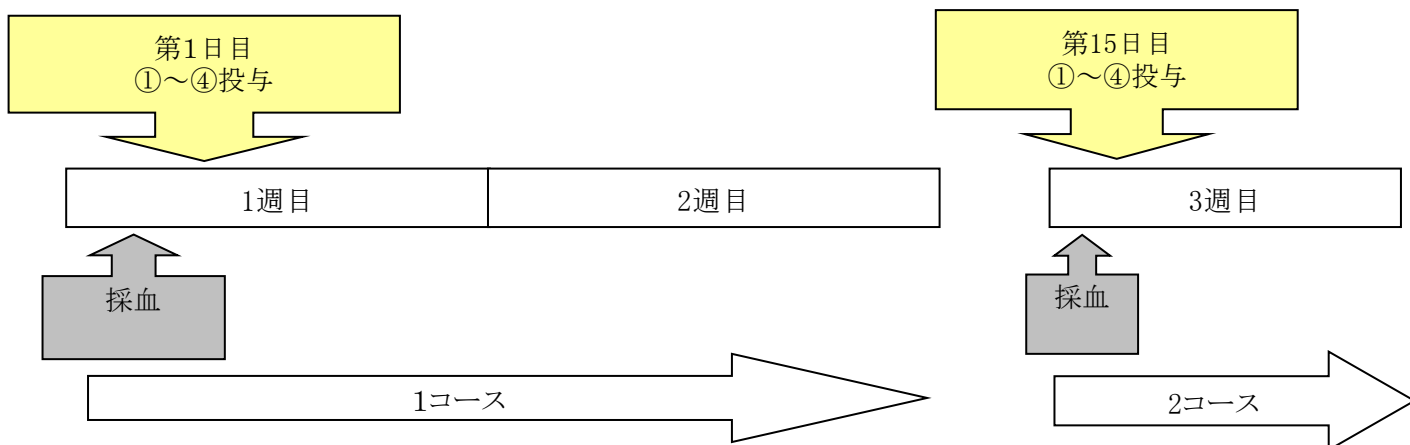
実施印

	薬物/実際の投与量	投与時間	投与経路	
①	グラニセロン3mgバッグ1V デカドロン3.3mg2A	30分	点滴	
②	レボホリナート 200mg/m ² 5%糖液100mL ()mg/body #VALUE! 計算値 最小単位10mg	2時間	点滴	
③	5FU 400mg/m ² ()mg/body #VALUE! 計算値 最小単位10mg	5分	点滴	
④	5FU 2400mg/m ² +生食を加え全量を230mL (処方生食500mL) ()mg/body #VALUE! 計算値 最小単位10mg	46時間 インフューザー ポンプで	点滴	

投与手順



スケジュール

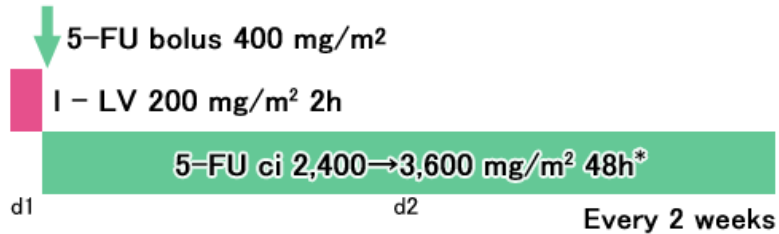
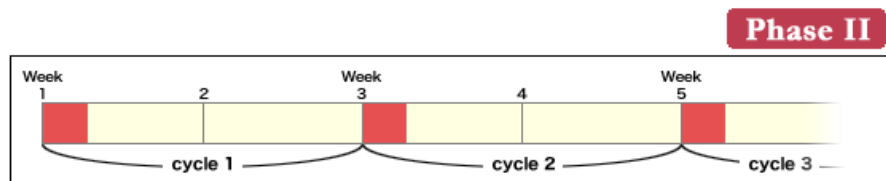


(採血)

- ・初回投与時は投与直前と、投与2日後にする（副作用チェック）。
- ・2回目以降投与の際は、投与直前に採血する（副作用チェック）。
- ・腫瘍マーカーは月1回測定する。画像は2月に1回撮影する。（効果判定）

(効果)

sLV5FU2 regimen (Simplified bimonthly regimen)



*日本での承認用量は
5-FU 2,400~3,000 mg/m² 46h投与

RR	37%
PFS	8.6M
OS	18M

Tournigand C, et al. Proc ASCO #1052, 1998

de Gramont regimenより簡略な投与スケジュールで同等の治療効果が得られることを目標に設計された regimen。2日目のLVと5-FUの急速静注が省略されている。1998年のASCOでは、進行再発大腸癌患者86例を対象としてde Gramont regimenと同等の治療成績が報告された。